

「脳腫瘍の症例報告」

第二回 日本先制臨床医学会 発表講演

アルテスネイト製剤で治療を受けた「神経膠芽腫の症例報告」 神経膠芽腫(脳腫瘍)の術後に、アルテスネイトを継続使用し、再発を認めていない症例を経験したので報告する。

患者は 31 歳男性、2016 年夏から頭痛、嘔気あり。2016 年 12 月に名古屋セントラル病院で右 前頭葉の脳腫瘍と診断され同月手術施行、神経膠芽腫(4 期、余命 6 ヶ月)と診断され、2017 年 1 月から化学療法開始。化学療法は、テモダールとアバスチンを使用した。

放射線量も併用し 合計 60gy 照射をおこなった。化学療法については、倦怠感、悪心・嘔吐などの副作用があり、テモダールを初回 42 日間服用後に中止した。2017 年 10 月からアルテスネイト180mg (3V)注射液を週 1 回ペースで開始した。

2018年 2月からは、アルテスネイト 3V注射液を 2 週に 1 回のペースでおこなっている。

手術した病院で定期的に、頭部 MRI 検査施行しているが、再発の兆候は認めていない。

悪性度の高い脳腫瘍に対し、標準治療後の治療として、アルテスネイトを継続的に使用して再発を認めず、アルテスネイトの有効性が示唆された。

〔追加内容〕治療終了後 7 年半余り経過、脳腫瘍の増殖はない。MRI 検査は 4 ヶ月おきに実施する。治療は行ってない。元気に仕事、スポーツなど行っています。

医療法人桂名会 木村病院 木村衛

アルテスナイト注射薬で治療効果が出た症例

- ・患者様：女性60歳 愛知県 胆管がん4期（木村病院 名古屋、患者様の所感）

乳がんから4年目に胆管に転移(手術出来ない)抗がん剤治療を中心とした病院治療に、疑問を持ち病院治療の問題などを調べて、アルテスナイトを知り、最初からこれが絶対だと思いました。1か月後、腫瘍マーカーが下がり、翌月は、PETやCT画像では、がん細胞はなく消滅していました。体調も大変良く、副作用がない事が、一番良い点です。

- ・患者様：女性75歳 愛知県 大腸がん4期（木村病院）

3年前に卵巣がんオペ。大腸がん転移4期、腹膜播種で腹水貯留あり。抗がん剤投与するが、マーカー上昇。他抗がん剤を投与するが、腫瘍マーカーは下がらない。アルテスナイト治療で、腫瘍マーカーも下がり、腹水が6ヶ月余り溜まらなくなり、体調も良くなる。

- ・患者様：女性55歳 愛知県 肝臓がん（木村病院）

手術後、アルテスナイト治療を行なう。7年転移、再発はない。元気にお仕事をされている。

アルテスナイト注射薬で治療効果が出た症例

- 患者様：男性 63歳 名古屋市 すい臓がん（木村病院）
愛知県がんセンターで手術。すい尾部 11mm 摘出する。
転移を心配して、アルテスナイト治療を行なう。
CA19-9 209から22減少。現在体調も良く、仕事もされている。
- 患者様：女性85歳 愛知県 乳がん4期（木村病院）
緩和病院から木村病院へ通院して、アルテスナイト治療を行う。
肺、背骨への転移が消滅する。
その後、治療はしていない。転移消滅1年6ヶ月後に、老衰でご逝去される。
- 患者様：女性73歳 秋田県 下咽頭がん4期（星子クリニック、東京）
大学病院、他施設からは手術しか治療はないと言われ、ホテル宿泊して治療を行う。
アルテスナイト治療を行い、痛みがなくなり体調も良くなり、秋田に帰省される。